

「ワクワク」な夏休みミニ研修 レポート1

テーマ『低学年の子どもたちを指導する時に心がけていること』（町支先生・新田先生）

町支先生は、子どもたちの「今」だけではなく、進級した後、さらには大人になった時などの「未来」を見据えて指導をされています。低学年は、学習面・生活面の「根っこ」として大切な時期。「根っこ」だからこそ、スモールステップで認めながら、丁寧に指導を繰り返すことの大切さを教えて下さいました。

さらに低学年の子どもたちに指導する時に心がけていることを、学習面 10 個・生活面7個のポイントにまとめて下さいました。例えば、「きくことの大切さ」について「目と心と頭を使って!」。スピーチについては、「3文話そう」など、具体的な指導言なども示していただきました。



「教師は、五者であれ!」とはよく言われますが、まさに「新田先生は五者」です。(※五者は、学者・医者・易者・役者・芸者)時には「役者」となり、知らないふりを演じたり、時には「芸者」となり楽しい雰囲気をつくったり。時には「医者」となり、一人ずつの様子をみとり、的確な支援をしたり。相手や状況などに応じて「五者」を使い分けておられるのは、担任の在り方で子どもたちの学級への安心感などが左右されるからだと思います。

教師がどうしたいではなく、目の前の子どもたちの成長のため・安心のために、教師はどうあるべきか、教師として考えを深める時間となりました。

テーマ『養護教諭、どんな仕事をしている?どんなこと気をつけている?』（谷川先生）

毎日、子どもたちや教諭が安心して授業などができるように支えてくださっている谷川先生。「ありがとうございます」と感謝しながらも、授業をしている中でどんなことをしてくださっているのかわからなかったり、気づいていなかったりすることもいっぱいです。改めて、1日の動きを教えていただく中で、多くの人が安心して生活できるように支えてくださっていることを実感しました。

命に係わることなどで丁寧に対応してくださりながらも、子どもたちへの急な対応もしてくださり、さらには教諭や管理職、保護者など様々な方と連携して下さっているから、安心して過ごせていることを改めて感じました。ありがとうございます。



座談会 テーマ『ノートやワークシートなど、どこをどう見て評価したり、コメントしたりしている?』

花丸の大きさや、特別なきりりんマークをかくなどして、評価しているよ。

毎回集めて、見るポイントを決めて評価しているよ。

○付けする時もあるけど、ハンコで評価しているよ。

